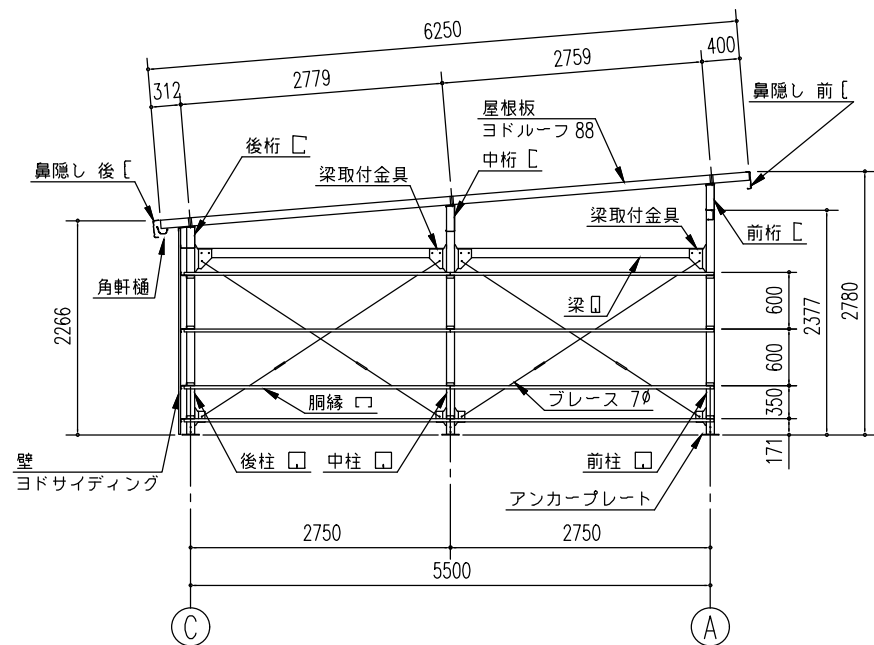
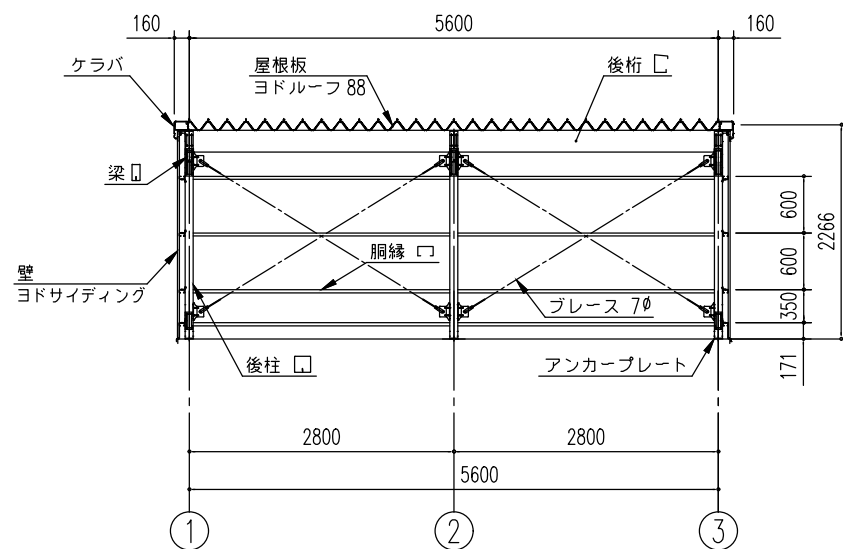


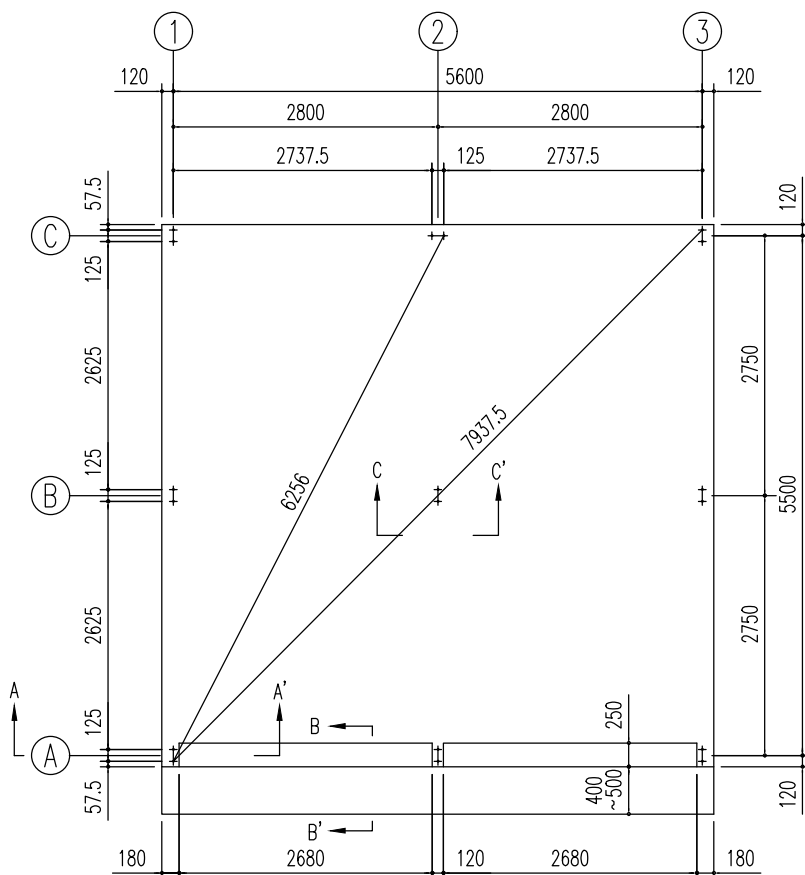


側面断面図 (S= 1/80)

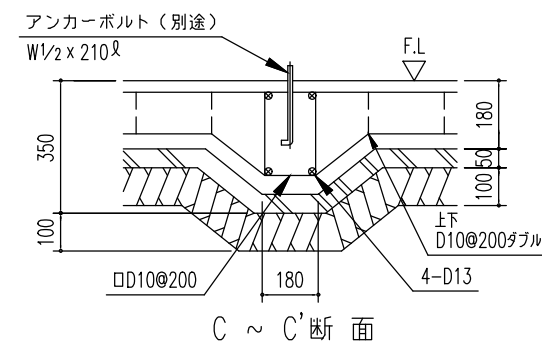
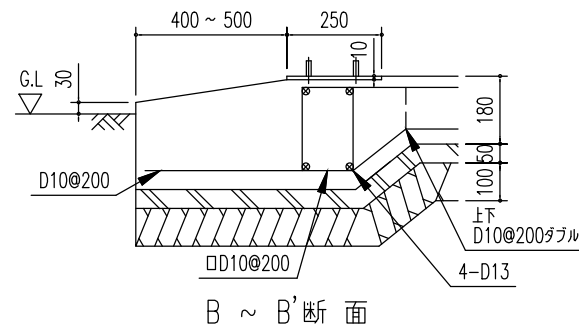
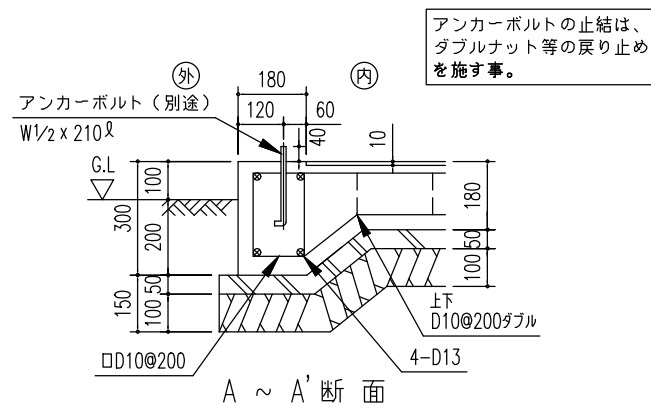
※側面の出入口により、ブレースの配置が変更となる場合があります。



正面断面图 (S=1/80)



基礎伏図 ($S = 1/80$)



ベタ基礎断面図 (S = 1/20)

＜下記条件での参考図＞

(地耐力 50 kN/m² 以上, コンクリート設計基準強度 18 N/mm² 以上)
(基準風速 34 m/s, 地表面粗度区分 III)

注1) 寒冷地の場合、凍結深度等を考

注1) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注2) 水切りを取り付けた際、光漏れの可能性がありますので
基礎の立ち上がり部と天面部の角に面取りをしないでください。

注3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

SOB-3057LD 型 (2 連棟)

建築面積	30.8㎡	(間口柱芯寸法)×(奥行柱芯寸法)
------	-------	-------------------

構造耐力上主要な部分の部材

部材表	形状	板厚	使用材料	有効細長比
柱	 ー 85 x 85	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	74
梁	 ー 100 x 50	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	ー
桁(前)	 ー 280 x 92 x 18	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	ー
桁(中)	 ー 280 x 92 x 18	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	ー
桁(後)	 ー 230 x 150 x 35	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLOC	ー
ブレース	ー	7.0φ	JIS G3101 一般構造用圧延材 SS400	ー
ブレース	ー	10.7φ	JIS G3101 一般構造用圧延材 SS400	ー
ターンバックル	ー	7.0φ用	JIS A5541 建築用ターンバックル鋼	ー
ターンバックル	ー	10.7φ用	JIS A5541 建築用ターンバックル鋼	ー
アンカープレート	ー	6.0mm	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 SS400	ー

構造耐力上主要な部分以外の部材

部材表	形状	板厚	使用材料
銅縁	□ — 54 x 33 x 10	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
屋根	ヨドルーフ88 4mm発泡ポリエチレン貼り	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
壁	ヨド角波サイディング800N型	0.4mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し・ケラバ	—	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター	—	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前板(Ｌ)	—	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
トイ	塩ビ製 角縁	—	—

名 称	ヨド 倉 庫（ベタ基礎）	株式会社 ヨドコウ
機種名	S0B-3057LD 型（2 連棟）	